



高畠町公式
マスコットキャラクター

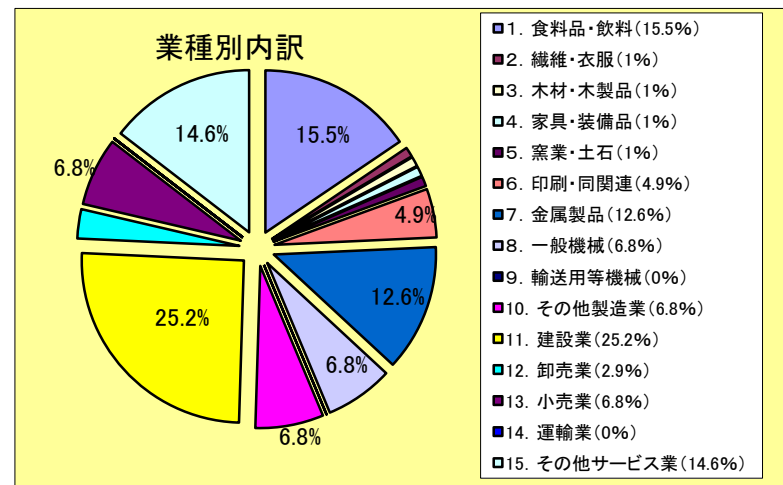
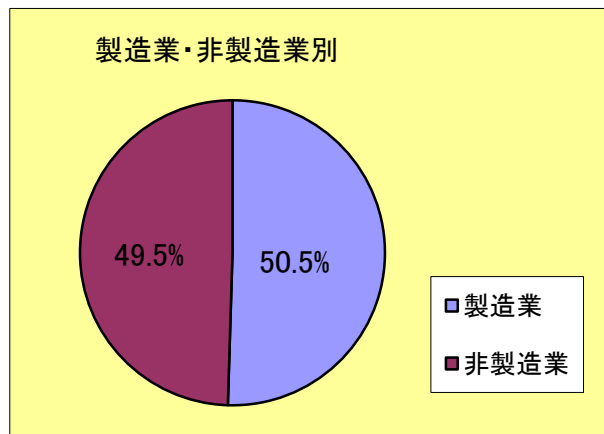
平成26年度 第1回高畠町景況調査結果 (平成26年6月実施)

平成26年8月
高畠町産業経済課



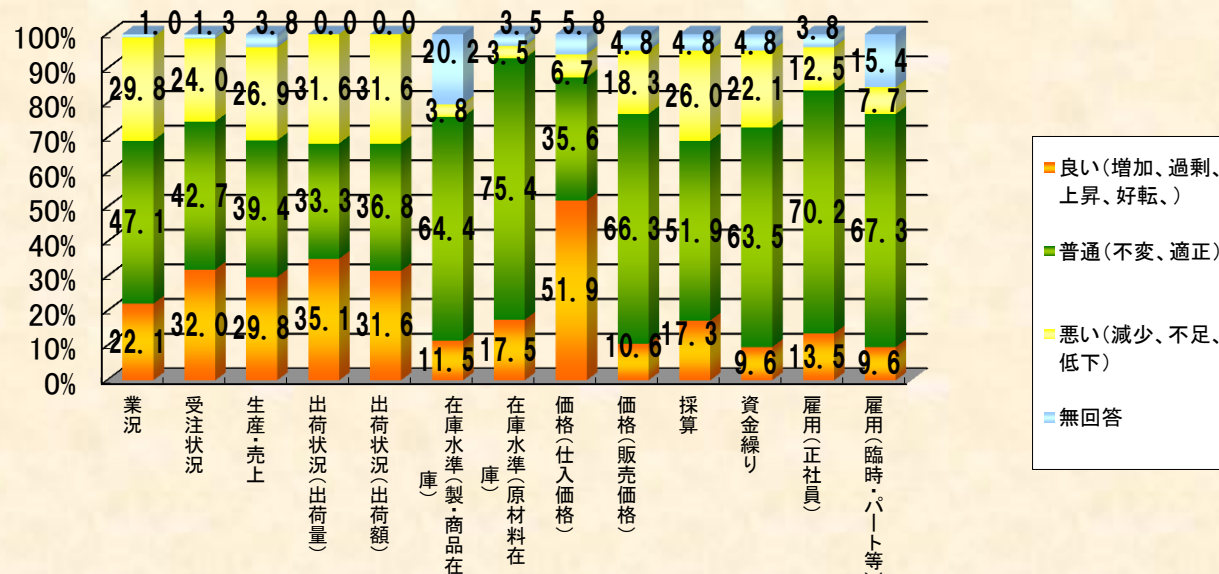
1. 調査概要及び回収結果

1. 調査の目的 町内事業所の現状の景気動向を把握し、地域産業の振興施策を検討する上での基礎資料を得る。特に、新政権による経済政策に対する景気動向と行政、商工会等に希望する支援等を調査する。
2. 実施主体 高畠町、高畠町商工会
3. 調査設計 (1) 標本数：町内事業所(個人事業主も含む)167事業所
(2) 調査方法：調査票の配布(郵送法)、回収(FAX及び持参)
(3) 調査期間：平成26年5月19日～平成26年7月14日
4. 回収結果 103事業所(回収率61.7%)
5. 採用指標 「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用
「良い割合」-「悪い割合」などで算定する。

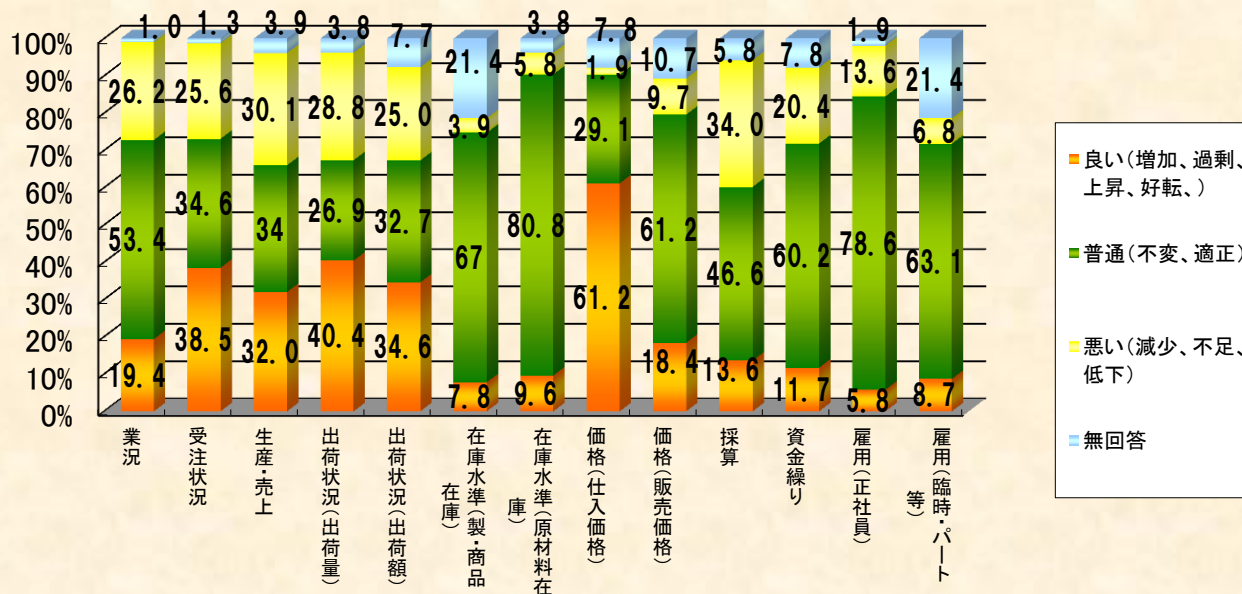


2. 各設問のデータ比較(%)

前期
(平成25年6月～
11月)



今期
(平成25年12月
～平成26年5月)



3. D.I.から見た景気予測

高島町景況調査(DI)から見た景気情勢(平成26年6月調査)

※DI景気動向指数(「良い割合」-「悪い割合」等)

高島町産業経済課

No.	調査項目	H21.4~ 6月期	推移	H21.7~ 11月期	推移	H21.12~ 22.5月期	推移	H22.6~ 11月期	推移	H22.12~ 23.5月期	推移	H23.6~ 11月期	推移	H23.12~ 24.5月期	推移	H24.6~ 11月期	推移	H24.12~ 25.5月期	推移	H25.6~11月期	推移	今期 DI H25.12~26.5月 期実績	推移	来期 DI H26.6~11月期 見通し
1	業況	▲70.1	↗	▲51.4	↗	▲42.1	↗	▲41.3	↘	▲52.8	↗	▲12.7	↘	▲20.5	↘	▲30.3	↘	▲38.8	↗	▲7.7	↗	▲6.8	↘	▲14.6
2	受注状況(製造業・建設業)	▲80.3	↗	▲51.0	↗	▲43.1	↗	▲26.1	↗	▲23.6	↗	▲4.4	↘	▲13.8	↘	▲27.1	↘	▲34.7	↗	8.0	↗	12.8	↘	▲9.0
3	生産・売上	▲70.1	↗	▲48.6	↗	▲31.9	↗	▲14.3	↘	▲40.3	↗	▲3.2	↘	▲8.2	↘	▲25.0	↘	▲33.7	↗	2.9	↘	1.9	↘	▲9.7
4	出荷状況【出荷量】(製造業)	▲70.3	↗	▲47.0	↗	▲33.4	↗	▲10.0	↘	▲24.4	↗	9.4	↘	▲17.5	↘	▲43.9	↗	▲35.6	↗	3.5	↗	11.5	↘	3.8
	出荷状況【出荷額】(製造業)	▲67.6	↗	▲50.0	↗	▲33.4	↗	▲10.0	↘	▲29.8	↗	3.1	↘	▲32.5	↘	▲46.3	↗	▲40.7	↗	0.0	↗	9.6	↘	▲3.8
5	在庫水準【製・商品在庫】	▲5.2	↗	2.7	↗	2.9	↗	6.3	↗	8.3	↘	3.2	↗	9.6	↘	7.9	↗	9.2	↘	7.7	↘	3.9	↘	▲3.9
	在庫水準【原材料在庫】 (製造業)	16.2	↘	11.8	↘	0	↘	10.0	↘	5.4	↗	9.4	↘	2.5	↗	12.2	↘	6.8	↗	14.0	↘	3.8	↘	0.0
6	価格【仕入価格】	▲3.9	↗	2.8	↗	18.8	↗	27.0	↗	32.0	↗	34.9	↘	32.9	→	32.9	↗	50.0	↘	45.2	↗	59.2	↘	45.6
	価格【販売価格】	▲51.9	↘	▲52.8	↗	▲40.6	↗	▲30.1	↗	▲26.4	↗	▲17.5	↘	▲20.5	↘	▲21.1	↘	▲23.5	↗	▲7.7	↗	8.7	↘	0.0
7	採算	▲70.1	↗	▲55.5	↗	▲39.1	↗	▲27.0	↘	▲54.1	↗	▲25.4	↗	▲24.7	↘	▲27.6	↘	▲35.7	↗	▲8.7	↘	▲20.4	↘	▲22.3
8	資金繰り	▲50.6	↗	▲40.3	↗	▲23.2	↗	▲23.8	↘	▲33.3	↗	▲22.2	↗	▲20.5	↘	▲22.4	↘	▲31.6	↗	▲12.5	↗	▲8.7	↘	▲13.6
9	雇用【正社員】	▲9.1	↗	▲8.4	↘	▲10.3	↗	▲9.6	↗	1.4	↘	▲11.1	↗	12.3	↘	▲2.6	↘	▲5.1	↗	1.0	↘	▲7.8	↗	3.9
	雇用【臨時・パート社員等】	▲15.6	↗	1.4	↘	▲5.8	↗	7.9	↘	▲5.5	↗	0.0	↗	16.4	↘	1.3	↘	▲1.0	↗	1.9	→	1.9	↗	6.8
参考	設備投資 ※「実施」、「実施予定」の事業所割合	平成20年度 実施	推移	平成21年度 実施	推移	平成22年度 実施	推移	平成23年度 実施	推移	平成24年度 実施	推移	平成25年度 実施	推移	平成26年度 実施予定	推移	平成27年度 計画								
		22.1	↗	39.1	↘	27.0	↗	28.9	↘	22.4	↗	28.8	↘	26.9	↘	20.4								

4. 景気動向(概要)

町内事業所の業況は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要及びその反動が一部みられるものの、着実に持ち直しており、緩やかに回復しつつある。



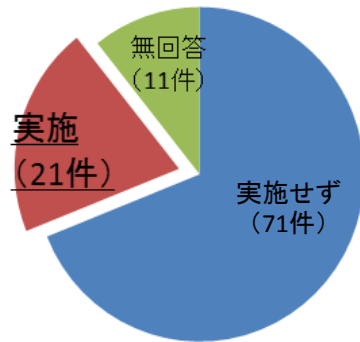
(1) 業況D.IIについて、前期(▲7.7)から今期(▲6.8)と0.9ポイント改善し、受注、生産、出荷状況等が、前期から継続していずれもプラスの値(「良い」と答えた割合が上回る)となった。引き続き、仕入価格は高い値となっており、採算性が、悪化している。

来期については、現在の原材料高に加え、人手不足による採算性の悪化、消費税率引上げによる継続的影響への懸念等から、業況の悪化が見込まれている。

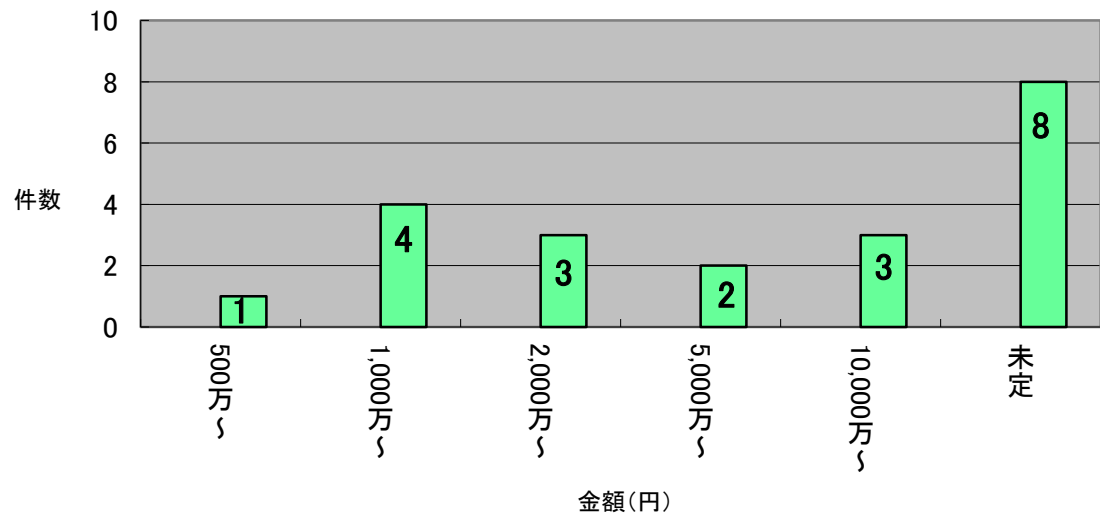
(2) 雇用D.IIについて、正社員(前期1.0から今期▲7.8へと減少)、臨時・パート社員等(前期、今期とも1.9)と推移している。来期は、正社員、臨時・パート社員等ともに改善が見込まれており、雇用情勢の改善が進んでいると見うけられる。

5. 設備投資

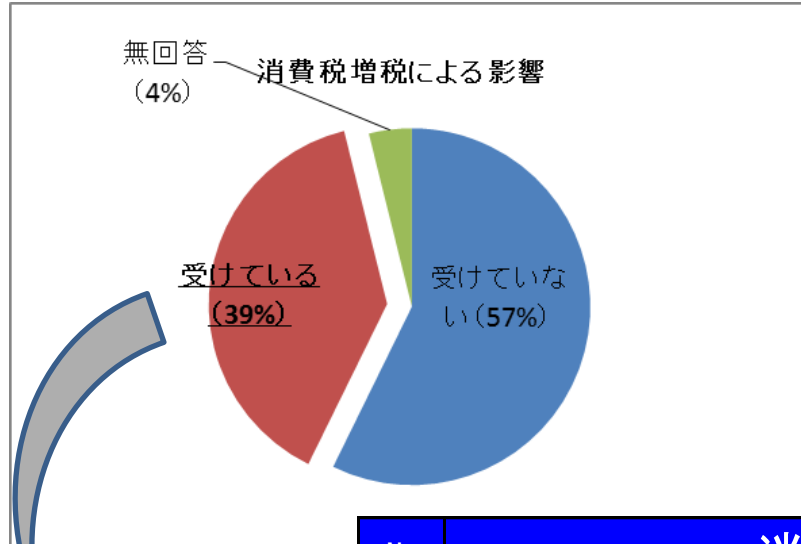
設備投資(平成27年度計画)



平成27年度計画 設備投資(事業規模)



6. 消費税増税による影響



No.	消費税増税による影響の内容
1	消費者の買物の頻度が少なくなっているのか…。
2	民間投資の減少
3	売上減少
4	増税前の3月までの駆け込み需要とその後の落ち込み(4月以降、大幅に減少)
5	受注価格に影響あり
6	価格の上昇
7	材料費高騰(コストアップ)により税額がアップ
8	材料費、消耗工具経費の増
9	仕入値上昇を売価に転化できない。
10	来年度からの消費税納付額が心配だ。
11	全てにおいて

7. 事業所、業界の動向

No.	良 い
1	業界、当社共やや好転
2	山形DC本番のスタートとなり、県内は動向が少し活発になりそう。
3	少しずつ好転の兆し
4	震災関連の業務が3年は続く想定している。また、町統合中学校に関連する業務についても期待したいです。
5	前年同時期対比では、売上・利益とも伸びてきている。

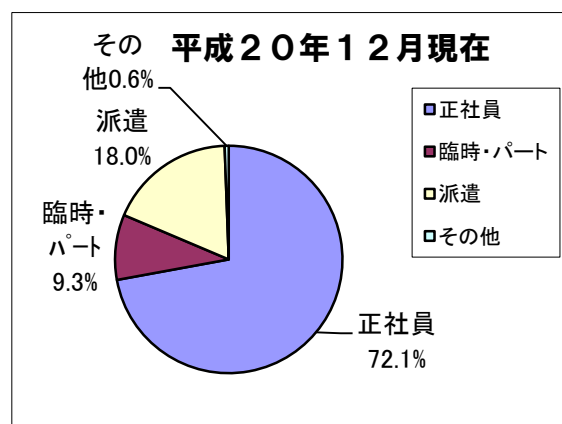
No.	悪 い
1	国産原料の高騰で不足気味。でも販売は低下しているので何とかしのいでいる。
2	原料不足、原料高の状態が続いています。
3	食品加工は年々減少傾向にある。
4	原材料高の影響で収益は厳しい。
5	思った以上に動きがよくない。
6	観光業界は当然厳しい状況が予想される。
7	円安になっての仕入価格の高騰や相変わらずの受注価格の低下の為、受注量は少し増えてきているが、採算的に合わない現状がある。このまま続いていたらいずれ先細りしやっていきなくなる恐れがある。
8	業界全体が低迷しており、大きな変化はない。
9	スマホ等の時代となり、●●業界は大変厳しく不安です。
10	原料高傾向
11	採算は合わない。材料が高くなっている。
12	零細企業にとって厳しい状況は変わらない。世の流れとして淘汰されていくのか…。
13	増税により修理代金がきちんと回収なのかは心配です。仕事は減っているような感じです。
14	低迷状態
15	主にアパートや住宅の基礎工事をしているが、山形市方面等から置賜の方へくる業者が増え、地元の業者が受注減の影響を受けている。
16	景気が上向けば一番最初に嫌われる仕事なので、 人手不足 が続くと思う。
17	消費税増税による新築物件が減れば、建設業の●●物が減少する。
18	職人の不足 は当然続くようです。
19	消費税増税後、とにかく仕事が少なくなっている。
20	人材不足(若者) 。建設業に従事したい考えがない。
21	先行き不透明
22	職員の不足 が不安材料である。
23	部品製造業(小企業)はこれから5年後に自然淘汰されていく？大企業の海外進出、海外での部品調達によりますます厳しい。
24	客数の減少
25	来店者数減少により売上が減少し、資金繰りが悪化している(子供の数が減少しているのも困る)。

No.	その他
1	売上が増加しているとはいえ微増であり、まだまだ先行きは不透明です。
2	当社は駆け込み需要はなかったが、●●業界全体としては3月金額ベースで2桁増とのこと。4～5月はその反動もあり苦戦。
3	いつも大変お世話になっております。今後ともご指導ご支援のほどよろしくお願いします。
4	事業年度上期(4～9月)は一服感がありますが、下期(10～3月)は需要拡大を期待しております。
5	リサイクルの流れには逆行することになるが、市場での新●購入が廃止の傾向。現状の●●の破損(経年疲労などによる)等。
6	受注は増えておいつけない状況で、振り回されている。
7	単価はまだ上昇すると思われます。
8	短納期で忙しく働いているが、利益につながらない。
9	仕事はまあまあ途切れませんが、急ぎの仕事がほとんどです。
10	売上が上がる分、人手不足で人件費がかかり残る分がない。

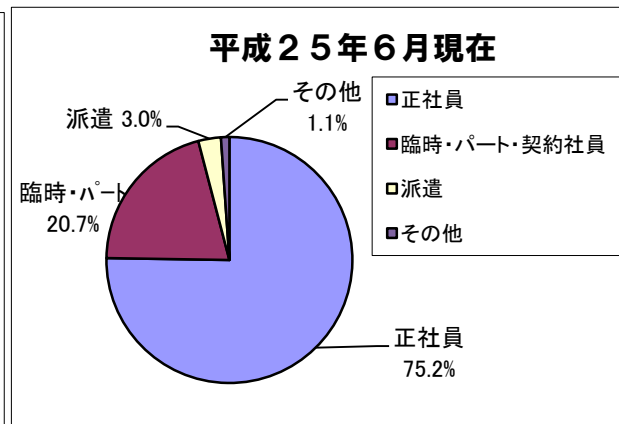
8. 行政や商工会等への要望事項

No.	要望事項
1	【教育総務課・産業経済課】地産地消給食の頻度を増やしてもらいたい。年に数回では何の役にもたない。農家を応援する意味でもぜひ…。
2	特にありません。
3	DC効果に期待しているが…。
4	【商工会・産業経済課】特に工業界、工場生産額に関しては、町の今や基幹産業となっているが、更に活性化するための助成金や開発資金等に関する資金など前向きな運用がほしい。
5	【産業経済課】この時季、算定の書類、労働保険申告、厚生労働省関連の書類作成とその他もろもろあり、大変忙しいのです。調査の時期をずらしていただければ幸いです。
6	町が活気づくような政策をやってほしい。
7	数年実施していますが、調査目的がわかりません。
8	町の仕事を多くの業者に出してほしい(指名業者ばかりでなく)。
9	【商工会・産業経済課】アンケートよりももっと製造業について勉強してほしい。
10	【商工会・産業経済課】助成金等の説明、申込が簡単にわかるようにお願いします。

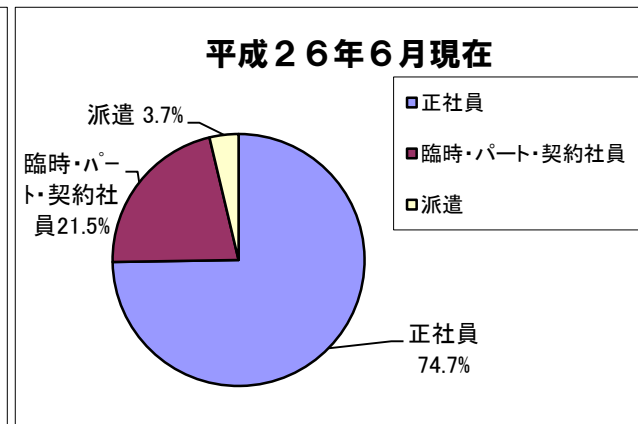
9. 雇用状況の推移



平成20年12月現在
63事業所3, 292人



平成25年6月現在
98事業所3, 535人



平成26年6月現在
103事業所3, 821人

調査を開始した平成20年12月と比較し、今期は正社員は2.6ポイント、臨時・パート等は12.2ポイント増加し、派遣は14.3ポイント減少している。

1年前との比較では、それぞれ割合的に大きな変動はないが、人材不足等の現況から、来期(H26.12調査予定)に正規雇用、臨時等ともに増員を見込んでいる事業所がみうけられる。